

---

# 高校生日記

63171014

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

高校生日記

### 【ZPDF】

Z7585W

### 【作者名】

63171014

### 【あらすじ】

性別 男

年齢 16歳

職業 高校生

部活 男子バドミントン部

趣味 ギター 折り紙 読書

実際 エッセイと呼べるかどうか・・・

## 7月（夏休み1）

7月23日 土曜日 晴（最近の夕日はきれい）

今日は『夏休み』初日。

3学年通して講習があるため、いつも通り6時半に起床。

朝食は一昨日の残り物の『ゴーヤチャンプル』。

豚肉とゴーヤ、もやしが互いに良い味を引き出し合って、とても美味しい。

ゴーヤの苦味は疲れた体に効果があるらしい。

講習の1時限目は『英語』。

今回の担当の講師（教師）は男の先生で少し苦手な人だ。  
よくかむし言い間違うことがけつこうあるからだ。

2時限目は『古典』。

僕が勝手に『オジキ』とひそかに呼んでいる先生で、怒ると恐い人だ。

3時限目は『数学』。松久先生（男）という方で、初めての授業だった。

（上の2人は普段の授業の先生である）

背はそれほど高くなく、肩幅も広くない。

どちらかと言うと、小動物みたいな感じがした。

授業は『発展コース』と言つ

（定期考査である点数以上とそれ以下の生徒で分けられるらしい）

分類で、内容は『4次式の因数分解』『一重根号・二重根号』だった。

説明は必要のある箇所を説明し、解らない人がいれば個人的に教える。

僕はこのようなタイプ授業の方が好きだつたりする。

先生が黒板に字をかく時、手をピンチと伸ばす仕草がとても可愛いい（多分、僕だけが思うこと）。

その後、母さんが作ってくれたおにぎりを部活の先輩達と一緒に食べ（味はとても濃かつた）、部活に参加した。

まだ膝の調子が悪く、マネージャーとして働いた。

今日はランニングの付添いをした。

百年記念塔と呼ばれる場所まで3往復するのは以外と疲れた。

今日は3年生の先輩の打ち上げで、学校へ戻る時マネージャーの人達は、キヤツツ・アイに向かっていた。

部活が終了して、同級生と一緒に帰宅をした。

家に着いてから、携帯電話の電源を入れると、メールが2件届いていることに気がついた。

1件は a.uからのメールで、どうでもいい。

もう1件の方は、同じ中学校の女子からだった。

「ろくじごろ じゅえんにきて

と、なぜ全部平仮名?と疑問に思いつつ、

「なんかあるの?」

と返信。1分の間もなく、

「会いたいな」(笑)

と来た。とりあえず向かうこととした。

公園に到着したが、メールの主はおらず、

「今 どこ?」

と送信。するとすぐ、

「すぐ、つくる

と。

ベンチに腰かけていると、携帯電話に着信有り。

「もしもし?」

「今 どこにいるの?」

とメールの主かと思つたが声が違う。

いつも一緒にいる3人組の1人だつた。

「時計の下」

と、簡潔かつ単純で、解りやすい答えをすると、

「遊具の方」 ふつつ。

電話を切られた。おいおい。

言われた通り、遊具の方にふらふらと寄ると、いつもの3人組がそこにいた。

電話してきた女子は、通つている学校の制服のまま。メールしてきた人のふたごの妹は、おしゃれをした服装。結構可愛い。

メールしてきた本人は……おしゃれ感、皆無の服。

話をするとき、おしゃれ感、皆無の女子が今日、彼氏と会つららしい。

リア充め……！

でもなんで会うのにおしゃれとかしないの？と胸の中で疑問を抱いた。

女子3人男子3人とちょうどバランスの良い人数になり、「高校はどうだ」

「クラスメイトが面白い人だ」

「学校祭は楽しかった」とか色々なことを2時間くらいしていると、親からメールが届いた。

「何時頃帰つてくるの？」

時計を確認すると8時40分。

高校生にとつてはまだ活動している時間なのだけれど、途中退席を強いられた。

「また今度ね」、と別れを告げ僕は家へと向かつた。

7月26日 火曜日 晴 (最近、凄く眠い)

23日からの講習も明日、27日（これを書いている時点では今日）でやつと終わる。

英語、古典、数学の無限ループとも思える地獄の5日間とはこれでおさりばだ！

……だけど夏休みの課題はたっくさん出題されている。

流石、進学校め（皮肉）！

だけど『数学』は半分近く終わっているから少し余裕はある。あと、『英語』は講習で使うテキストを看破し、

物語を読みその感想を書く。

『国語総合』は「高瀬舟」の読書感想文をA4の紙に印刷して提出。

『現・社』はプリント12枚、普通かな……？

『家庭科』は年配の方に話を訊かせてもらつといつ、ありきたりなもの。

正直、だ・か・ら・な・に？

と、沢山の宿題があるなあと思った。

7月27日 水曜日 曇（後雨、後晴）

講習最終日。

地獄の5日間は終わりを告げ、同時に安息の夏休みが始まった。部活開始前、次期部長の話をした。

それと、今現在の僕のポジションについて。

僕は部員でもなれば、マネジャーでもない。

『ママ』という役職。んなもんあるのかな？

ちなみに今日はマネジャーが4人中3人が欠席し、そのため手伝つた。

特にこれといったことがないので、今日はこれで終了。

7月28日 木曜日 晴

うだるような暑さから来る疲れの所為なのか、朝目覚めた時からのコンティショーンは最悪。

朝食を摂った後、ただただそれが当たり前の、当然の行動で、しかるべきして起こる動作であるようにベッドへ直行した。

部活が8：30からなので、用覚ましを7：40にセットして、眠りについた。

当然といえば当然なのだけれど、時間通りに起きられる訳もなく、まあ、寝過ごした。

気付くと、デジタル時計は8：15を表示していた。

慌てて自転車で全力疾走するものの、遅刻確定なのになぜこんなにも頑張るのかというと、特に意味はない。

結果、間に合った。これには正直驚いた。

いつもの登校では、絶対に20分はかかっていたはずなのだけれど、あろうことか、それを10分でなしとげてしまったのだから！だけどきちんと早寝早起を心がけていれば、こんな徒労である無駄な行為をしないで済んだのだから。

部活は例の「とく、マネジャーの手伝い。

家に着くと、どうしようもない疲労感が全身を襲い、夕飯を食べた後、午後8：00にはベッドに潜つていた。

7月29日 金曜日 快晴（最近は蒸し暑い）

今日の部活は午後からだったので、いつものように6：30に朝食を済ませた後、最高の2度寝を開始した。

……当然ながら、寝過ごし、ぎりぎりで10分で学校についた。なんかこれに慣れつつある自分がいる気がして残念である。

部活ではマネさんが2人欠席

（1人は家族でデズニーランド、1人は彼氏と花火大会を見に……）途中で1人帰り、最後まで残るというより、実質今日のマネさんは1人だった（マネさんは全員で4人）。

まあ、なんというかまたお手伝い。

ノック終了後、ゲーム練習となり、僕も参加した。

思っていたより動けたし、打てた。明日から練習を再開しよう…  
やる気満々だったのだけれど、7月の部活は今日で終了。  
次回は8月というとても残念極まりないお知らせとなつた。  
家に帰ると疲労からか、まず寝た。

7月30日 土曜日 部活無し

夏休み始まってから初の部活無し。今日はなにしようかなあ、と思つていたが、午前中は爆睡。

気が付けば午後になつていた。もっと時間を有効活用したいと思えた。

6時以降になると、近くの公園から太鼓の音が聞こえ始めた。  
夕飯にカレーを食べた後、財布を持って足を動かした。

同じ中学校卒業生が沢山いて

「久し振り～」などの声を何度も聞いた。あと、「痩せた?」とも  
言われた。

財布を持っているからといって、別に欲しい物がある訳でも、食べ  
たい物がある訳でもなかつたので、ポッケからは出さずにいた。  
みんなとは色々な話をした。本当に色々な話をした。

7月31日 日曜日 部活無し

特になにかをする訳でもなく、だらだらと1日を過ごした。

## 8月（夏休み2）

8月1日 月曜日 部活有り

2日振りの部活は大変疲れた。というより、調子に乗り過ぎていた  
onz  
ディズニーランドへ行つたマネさんからのおみあげをみんながいた  
だいた。

おかしだつたので、家に帰つてから牛乳と一緒に頂た。  
ほどよい甘さが牛乳とマッチしてとてもおいしかった。

8月2日 火曜日 部活有り

今日の部活は体育館全部を使えた。  
その分練習はきつくなり、かなりしんどかった。  
体力のなさを改めて痛感した。

8月3日 水曜日 部活有り（2、3年先は講習有り）

1年生は講習がないので午前中はフリー。僕は午前0時以降に小説  
を読み始め、止まらなくなり、気が付くと午前4時。  
あれ?なんだかお外が明かるいな.....?などと思っていた。  
絶対この時間じゃ寝られないよ~、

と思いながらベッドに潜ると10秒もしないで深い睡眠に入つてしまつた。

今日は保護者懇談（生徒の保護者と担任の先生との懇談）があり、  
父の勘違いにより、僕も出席した。

担任の先生から色々な僕にとってありがたいお言葉を頂いた。  
ちょっと恥ずかしくなつて照れたりした。

口許がにへらつと開いてしまう感じだ。

人に褒められるのは本当に嬉しいことだけど、恥ずかしくてじょうがない。

懇談が早く終わったため部活まで少し時間があまつた。トイレへ向かう途中に部員に会つたので部活までの間色々な話をした。

その後の部活で記念塔まで走ることになつたのだが、また膝を痛くしてしまつた。外ランをする度に足を痛めるのであれば、しない方が良いのかもしれないと僕は思う。

8月4日 木曜日 部活有り 暑い日だった

1年はノックをし続けた。

8月5日 金曜日 部活無し

今日は部活がないので中学の友だちと会つことにした。10時から12時までずっと色々な話をしていた。

高校生活はどうだとか、勉強がめんどくさいとかなどなど。

午後本屋さんに寄らうとしたが、突然の雨により諦めることにした。

8月6日 土曜日 部活有り

深夜3時までゲームをやり、その後は小説を読み始めた。ラノベは大変面白しく最後まで読み切りたくなるのはビックリしないだろう。素晴らしいから。

8月7日 日曜日 部活有り

さて楽しい時間というものは早く過ぎて行くもので夏休みも折り返し地点に到達してしまった。

それなのに怠惰な生活の影響で午前中は睡眞。

11時半頃に昼食を摂り、部活へ行く準備を始める。膝のサポーターが見つからず、少しの間探し、靴下「コーナー」にまぎれていたことに気づいた。

その後自転車に跨り学校へと向かった。

8月8日 月曜日 部活有り

夏休みの宿題を半分以上、一気に終わらせた。

8月9日 火曜日 部活有り（今日の夕陽はきれいだった）

今日といつもは特に変わったことは無かった、

と一言で片付けてしまえば確かにそれはそれで良いと想つ。だけどあまりにも味気無いようにも感じられるので、まあとらえず、

部活は午後で4時間。

休みの日はこれが普通で（今は夏休み中なのでこれに該当する）、実際のところ、体力があまりない僕にとっては凄くつらい。まず、10分間走ることから始まり筋トレ、筋トレ、筋トレ。体の内側から溢れ出すようにして流れ出る汗は、体育館の床を濡らした。

相当な量で、着ているTシャツが肌にべつたりはりついて来た。

（男子がスケート着たつての誰も得しねえんだよ！）

かなり気持ち悪い。残念ながら、代えのシャツを持って来るのを忘れていたため、今日の部活は最悪な気分になりそうだ。お茶、について。

部活の時は毎回マネさんとがムギ茶をつくりてくだれる。

そして多分僕は部内で一番多くそのお茶を飲んでいるはずだ。

汗をかくともの凄く喉が渴くのではまずは1杯、3秒もしないで飲み

10

## 続いて2杯目も

「あ、あ、」

更に3杯も、飲む。ここからは声を出さずに、周りにいる人と話しづらくなる。

もう一度コップにお茶を

さすがに声を掛けられた

茶を注いで飲み、注いで飲んでいたから、実際わからない

「そうかも……？」

おまけ!自体が無いので操作用は廻るぞ

「いや、流石にソーマでじやないしょ」

と軽く突っこんでおく

でか まあはやめて 普通に名前で呼んでくれ 賴む  
なんでもやつひとつもあつた。

8月10日 水曜日 部活有り（夜中に雨が降った）

Q・朝、学校に着いて1番始めにした行動はなんでしょう？

A・トイレに行つたよ……！

『午前の部活』といつものは僕にとつてかなりの強敵である。なんと言つても『朝』はつらい。

やる気が起きないし、頭がぼーっとするし、それに眠い。

こんな最悪の3コンボを喰らって平気なヤツはそういういな筈だ。

……実際、朝に強い人がうらやましい限りだぜ。

今日のメニューはまず体育館の中を1分軽く走り、その後ペースを上げて1分走る。

それを繰り返し、繰り返し……5回やつたので計10分間走つていった。

一度、5分間の休憩をはさんでから次のメニューに移つた。まあステップだ。膝がかなり悲鳴を上げていた気もしたが、我慢だ我慢。

マネさん先輩が心配してくださつたが、ゲーム練習をしたい為『大丈夫です！』と返答した。

……汗がひどい。衣服の重量を2倍より多くしたのではないかと思えてしまえるほど汗を吸い込み、臭かつた。

その後、基礎打ちを20分間。

再度、休憩をはさみノック。

コートの端にかごを設置して、そこ目がけて1分打ち続ける。

前後に動くのは大変だつた。かごの位置を替えて同じことを4回。疲れるな。次のノックはよく解んなかつた。

朝、6時半に起こされた僕は今日何時に寝たのかを思い出す。

「確かに、2時だったかな……」睡眠時間4時間と30分。

夏休みだからといって墮落し過ぎているのではないだろうか。

一人、ベッドの中で疑問に思うが、応えてくれる人はだれもない（いたら困るわ）。

どたどたと階段をどつかのお偉いさんみたいに闊歩すると、

「五月蠅い」と母からのモーニングコール。

一発で完全に目が覚めてしまつたぜ。

家を出発する時間を確かめると、『9時』だそうだ。

9時前には準備を完了させないと、と思いながらベッドに吸い込まれるように潜つて行つた。

……目を開けると8：55分。時計の針が狂つたかと思ったが、数量の変化を数字で段階的に示された時計、つまりデジタルな時計だつたので、そもそも針なんてものは存在しなかつた。まずい、急がないと！

身支度を5分もかけないように頑張つたのが、みんなの準備が遅かったので、

結局家を出たのは9時20分。あんまり急がなくとも良かつたじやん。

起伏やカーブの少ない高速道路を利用して、程良い振動が睡魔を連れてくる。

移動の際の1時間を丸々全部寝て過ごした。

おばあちゃんの家に到着して、まず始めることは仏壇へのお祈り。それが終わると墓参りに出掛けることになり、早足で準備をした。ふと思い返すと、ここに訪れるのも10年目を迎えていた。

『10年』、0・1世紀、122ヶ月、3652日（多分）。

果してこの年月、月日、時間、が長かったのか短かったのかは分らないけれど、

僕は沢山のことを経験してきたつもりだ。

車の中から街全体を見回したところ、あまり大きな変化はない気がするが、

自分の足で歩いてみると、商店街のお店が減っていた気がする。どちらも『気がする』だけであつて、実際にはどうなのか知らない。だけど

静かになつた、

確信を持つてそれだけは言える。

一度家へ戻り、再び今度はお昼ご飯を食べに出掛けた。  
到着したところは五香<sup>ウーチャン</sup>という中華料理店だ。

以前、といつても小6以下の記憶は曖昧で分らないので多分もつと幼い頃ここに訪れたことがあった。

昔のことなのに鮮明に思い出してくれる。  
ふり返ると、小さい自分が見えた気がした。

豚肉の唐揚げ、炒め飯、餃子ライス、豚肉の酢揚げ、味噌ラーメン、五目ヤキソバ。

4人で注文して色々な話をしながら食べた。

とてもおいしかった。帰りにBOOKOFFによつてお気に入りの歌手の弾き語り本を発見したので即購入、なんと200円ーもともと2000円だったのですごくお得な気分がした。

家に戻り『ジョジョの奇妙な冒険』の4部の終わりを読み、ギターに触っていると急に眠気に襲われそのまま寝てしまった。

気付くと2時間が経過していて、夕飯の準備が終わりみんなは食べ始めていた。

エビのフライと豚カツ。両方ともジューシーでさくさくで文句無しでおいしかった。

その後、帰宅。いつもなら車の中で寝ていたのだが、今日の昼寝はとても長かったので目がぱっちりと覚めていて退屈だった。

家に到着して携帯を確認すると友だちからメールが着ていて

『明日焼き肉するからうち来て！』

まじかよ……

8月1・2日 金曜日 部活無し（お盆休み？）

昨日のメールの件もあり、今日は焼き肉パーティーすることになった。

朝食を食べ終えた後、メールの返信を午前8：00ジャストにした。

『おく、何時開始だい？』

『1時から大丈夫？』

『問題無しー！』で待ち合わせする？』

『セブン、でもいい』

『おく、その後どこかに行くのかい？』

……そんなやつとりを3時間程。

さて1時。待ち合わせより110分早くセブンに着いたので

適当にぶらぶらしていると、

向こうからよく知っている顔がこちらを見て大爆笑した。

「ふはははは、お父さん久し振り～」

「誰がお父さんだよ。

「おーおー、誰がお父さんだよ……」

「だつてその服装とかまじお父さんじやん」 そりなのかな……

そんな会話をしながらビッグに向かった。

本屋さんでマンガを2冊購入して、メンバー達と合流した。  
お肉を買って主催者の家に訪れることになった。

4時間くらいをだらだらと過ごしたのだが、不思議と退屈もしない  
し、

むしろ楽しかった。

その後メンバーが一人やつてきて、全員集合一焼き肉パーティースタ  
ート!!

約一人が僕の皿にナスビやピーマンを置いていくくせに、  
逆に肉ばかりを持っていかれた。まあ別にいいんだけど。  
その後花火をして家に帰った。

8月1-3日 土曜日 部活無し（ばあちゃんが遊びにきた）

堕落した生活再び。

8月1-4日 日曜日 部活有り

今日の部活は午前であった。

だけど、それは別に大したことではなかつた。

それが午前であろうとなからうと、午後であろうとなからうと、きつともに変化はなかつたに違ひない。だつてお盆だもの。他の部活動は1つも活動していないといつのこと、バド部だけはあつた。

その所為で今日出席した人数は10人。あまりにも少ないマネさんもいない。寂びしい。

1通り練習が終わるとゲーム練習へと移行し、ただただ試合を繰り返した。

ちょっと以上にかなり疲れた。

部活が終了したので家へ帰り、ご飯を食べて、寝た。

8月15日 月曜日 部活有り

今日が蝉の一生に似た、散々待っていた挙げ句、すぐに終わってしまう夏休み最後の部活だといつのこと、元の参加した人は少なかつた。

昨日と比べると若干増えたのかな?と思つたが、人が入れ変わつただけで結局同じ10人だつた(マネさん+2だから増えてはいるけど……)。

練習では今までにない線オーネ

(体育館にひかれているラインの上だけを歩いてよいといつオーネごつこ)

をした後、ケイドロをやつた。

なかなか疲れる内容であった。

オニになつた人、負けた人は罰ゲームとして筋トレ、アルマジロ(四つん這いになつて体育館)を1周をさせられていた。その後基礎打ち、ノック、ゲーム練習と繋がつた。

ゲーム練習では1年と2年生が組むという新しい試みだった。負けてかなり悔やしかつた。

家に帰り、飯を食べ、パソコンを起動。

8月16日 火曜日 部活無し 夏休み最後の日

高校生活初めての夏休みだというのに、  
青春つて感じがもうどうしようもないくらいに、  
泣けてくるほどに皆無だった。

クソッ、一体どこの分岐点で間違ったんだ！？

あなたの考え方 자체がエンド・オブ・アース並みに終わっています。

宿題はなんだかんだ言って結局全部終わらせたし、まあ悪くはない  
かな？

## 8月（2学期）

8月17日 水曜日 2学期最初の日 もう普通に部活がある

朝の2度寝というのは大変気持ち良いものであります、あと5分……と思っていても気付くと30分が経過しているから凄く困る。

早く寝ろって？残念そんなこと僕には出来ない。家を出発したのが8時10分、完全な遅刻確定コースまっしぐら。だからこそ僕は頑張る！ふだんなら最低15分くらいかかるつてしまふのだが、

今日は10分で到着してしまった。

今は8時20分、あと5分遅かつたら廊下に立たされていた。危ない危ない。

1時限目に4班の人が掃除を命ぜられ、ふふふざまあと思つていたのだけれど、僕は4班であった。

9時になり、7月に受検した模試が返却されて、あまりうれしくない結果だつた。

その後は『実力確認テスト』という、

夏休み明けテストを午後にまでわたり繰りひろげられた。放課後は部活。

8月18日 木曜日

昨日行なわれた『実力確認テスト』が返却された。自信のあつた数学がまるでダメで正直、へこんだ。

英語は長文読解『THE STAR』で大打撃を喰らつた。右フックからのストレートは正直かなり効いた。理科で挽回。

今日の部活は前後半に分れていて、男子は前半にランニングをすることになった。

今回はみんなのタイムを測ることになっていた。

だが、お茶を作りに行つている間に帰つてしまつた部員がいた！

申し訳ない気持ちが溢れてくる。

放課後が終わり、生徒は下校の時間を告げられて各自の家に向かう。なのに僕は自転車の鍵を失くしていた……

仕方なくバスで帰つた。

8月20日 土曜日 部活有り

今日の部活は午前中。

眠い目をこすりながら学校へ向かつている。

当然、目をこすりながら自転車を運転している訳ではなく、昨日自転車の鍵が行方不明になつてので、親に送つてもらつている。車に乗つていると小さなゆれがどうしようもなく睡魔を活性化させる気がする。

練習中、ステップの最中マネさんに止められた。

『足が完治するまではムリしてはいけません！』 みたいな？

みんなが走つていると床が揺れ、また眠気が……頑張つて耐えた。

空は青空なのに突然、雷が鳴り出した。雨はまだ降つていない。雲が少なく、悪い天気ではないのに何回も何回もごろごろと鳴つている。

と、いきなり、雨が落ちてきた。

『降つてきた』ではなく、『落ちてきた』。

それこそ、たらこをひっくり返したかのような感じで、

ざあざあと大粒の雨が落下し続いている。

だけど、僕は、それがきれいに見えた。

マネさん2人がドアのところから顔を出していて、ピカッと光った瞬間、ビクッとしながら体を体育館に引っ込めてまた顔を出して、

「ごろごろ」と音が鳴ると、また全身をビクッとさせて引っ込めていた。

8月21日 日曜日

それは突然だつた。

一息つく暇もなく、終わりを告げていたのである。

「床屋に行きなさい」

絶対権力支配による弾圧だ。

それは僕に対して、死亡宣告と大差ないことを表している。

なぜならば、僕は

社会が苦手だ。

交流が苦手だ。

他人が苦手だ。

なによりも

とまあ、結局床屋行つたんだけど……やつぱりなんだ、絶対に慣れ

ない。

知らない人と話したくない。だから嫌なんだよ。

帰りに図書館へ寄り折紙、ジャズの本を確認した。

その後家へ帰り、久方振りに勉強をした。

8月22日 月曜日

今朝、朝食を食べてからベッドに横になると、いつのまにか眠つていた。

色々な夢を見ていた気がする。

けれど、もう8時になろうとしていた。

特筆することなし。

8月23日 火曜日 体育大会

今日は体育大会。

午前中は特に仕事とか出場するのがなかつたので、本を読んでいた。午後にはリレー予選会が開始された。

緊張が身体の調子を狂わしてしまつ程にまで増大していた。リレー予選は全部で5ブロックに分れていて、僕の所属する1年3組はくじの結果、4ブロックの4レーンだった。

4ブロックの他のクラスは全部上級生だったので、より緊張した。1つまた1つとどんどん消化されていき、いよいよ次は僕達の出番だ。

はちまきを巻き、軽くストレッチを済ませていると、3組の女子の視線に気付いてしまつた。

頬が勝手に緩んでしまつたので、恥ずかしくなり顔をそらした。

「位置について」

僕は自分を静める。

「よーい

僕は自分を鎮める。

「パンつ！」　スタートの合図、火薬のにおいが鼻をつく前、

僕は自分を沈める。

ただ走ることだけに集中する。  
他の二二二は二二二関係ない。

今は、ただ、走る。

1人、スタート開始直後に転倒した。

今はそんなもん関係なし！！

僕も全力で後を追いかける。

コーナーの曲がり角、折返し地点、

2位の人気がひじうちをしかけてきた！

バランスを崩されてしまった。

それでも頑張って走り、

スター・タリの人の段階では3つのクラスが同列1位だった。

•  
•  
•  
•  
•  
•  
•  
•  
•  
•

まあなんといふか結局、結果は3位になつてしまつた。

痛いくらいに悔やじめて悔やじて、自分のふとももを思いつきつぶ  
んなべつた。

れる。

悔やしかつた。

クラスのみんなは  
「上級生相手に凄かつたよ！」  
って言ってくれて、恥ずかしくなった。

8月24日 水曜日

体育大会2日目。特になし。

部活、ロード、大変。

8月25日 木曜日

昨日、一昨日の体育大会が嘘のように消え去り、なんのへんてつもない、なんの代わり映えのない学校生活に戻ってしまった。  
部活では、両足を同時に つる という、全く大変あほな行為をしてしまった。

8月26日 金曜日

体育大会の疲れがあり、授業をほとんど寝てしまった。

8月27日 土曜日

部活終了後、始めてのカラオケ！音が大きい、画面が大きい、コップが大きい！

なにもかもが新しい空間に僕は正直驚いた。  
3時間くらいぶつ続けて歌いまくったというのに、まだテンションは上げ上げのままだった。

男3人で入ったが、楽しい一時は本当に一瞬で終わった。

8月28日 日曜日

午前の部活終了後、友だち2人を家に誘つて遊ぶことにした。一緒にゲームをやつたり、将棋をやつたり、テトリスをしたり、ギターを弾いて楽しんだ。

8月29曜日 月曜日

そしてまた平日は始まる。

ただの繰り返す日々の始まり。

いつもいつも非日常に憧れて、非現実に憧れている。

今日の体育の時間は陸上で、100M走だった。

前回の記録は『13秒1』

今回の記録は『12秒6』！！

念願（？）の12秒代へと突入した！

部活の時間、マネさんに自慢したところ話し方が面白かったらしく笑われた。

別にいやな気持ちになつたりはしない。

久し振りに部活が早く終わったので、ゲオに寄ることにした。

8月30日

テスト1週間を切つたので、部活動は停止。今日は教室で勉強することにしたのだが、眠まつてしまつた。

8月31日 水曜日

朝一番、怒声から始まった。

「今までだらだらくっちゃんべつてるんだ！」

担任の先生は音楽の先生であまり大きな声を出さない。

だけど規律が緩んでいたり、だらしないことをしてしまつと注意はする。

だけど怒鳴つたりはしなかつた。

それなのに、今日は朝一番は怒りの込められた声だつた。

今日、友だちから

「9月11日にカラオケに行く／＼女子もくるよ！」

という文面のメールが届いていた。

## 9月（上旬）

9月1日 木曜日

今日も放課後に学校で居残り勉強することにした。  
勉強といっても大半はおしゃべりでつぶれてしまうのだけれど・・・  
友だちと他愛もない話をすることが、  
それは僕にとっては生活する上で一番重要なことだ。  
それは僕にとっては生活する上で一番重要なことだ。  
別に放課後が良いって訳ではなく、  
友だちと一緒にいられることが僕が凄く嬉しいのだ。  
だけど嬉しい反面、とてもこわい。  
本当の自分を見せたら、みんなは僕のことどう思つのか・・・

9月2日 金曜日

体育の時間は自習となりバレー、バスケ、バミントンのいずれか  
することになった。  
僕は最初、バスケをしたかったのだが人数が多く諦めることにし、  
バミントンすることにした。  
学校のラケットはとても重く、グリップもべたべたしていてかなり  
気持ち悪かった。  
羽根を適当に打ち合っていると授業はすぐにつぶれた。  
今日は金曜日。夜更しをしてゲームをやった。

9月3日 土曜日

部活のない休日は本当に久し振りな気がする。  
パソコンをやって、ゲームをして、ギターをかきならし、ゲームを  
した。

墮落している生活だな。

9月4日 日曜日

朝早く目覚めた僕のとつた行動は、いたつて単純極まりなく、テスト前の一高校生のすべきものではなかつた、とこひでは言つておこう。

いや、別に大したことではなく、休日だからという理由でゲームをやつていたのだ、12時間。

なんか始めたらやめるのが煩わしくなつてしまつて、ベッドの上から動かなくなり、気付いたら外はまつ暗になつていた。

勉強しろよな。

9月5日 月曜日

テスト前日。なのにいまだ勉強をせず。  
いいんだよ。別に・・・・・

9月6日 火曜日 テストの始まり・・・

テスト初日、科目は社会、理科、保健。  
なかなかの出来ばえだつたと思つ。

9月7日 水曜日

テスト2日目、科目は英語A、現国。最悪の出来ばえだつた。  
もう、なにがなんだかわからなかつた。

現国にいたつては問題数が多く、全部を解くことが出来なかつた。

9月8日 木曜日

テスト3日目、科目は数学A &amp;工、情報。まあまあの出来だつたと思う。

家に着くと、父さんが昼食をつくってくれていて、メニューはハムとイモとチーズの炒めもの。

塩・胡椒がもう少し効いていれば、更においしかつたと思つ。その後寝た。3時間くらい。（勉強しろよな・・・）

9月9日 金曜日 テスト終了！

4日間に渡る定期考查がようやく終わりを告げた。

今日の科目は英語B、古典、家庭科だった。

英語、古典の自信は若干ないが、5割を下回ることはない気がする。テスト終了後、大麻体育館でバドをやる予定だつたが、1人がドタキャンをすると、みんなまで行かないと言つてしまつた。

「どうして？」と尋ねると、  
「祭」・・・そうですか。

その後、バスにゆられて家への道をたどつた。出来る限り他人とは目を合わせないよう気を張りながら。

家に着くと母がキムタクチャーハン（キムチ タクアンチャーハン）を仕上げているところだつた。

「今日、会議あつたから夜遅くなるね～」と言つて、また仕事へと出掛けた。

お昼用につくつもらつていたおにぎりを2つ食べ、パソコンを起動し、4時間くらいぶつ続けでいつもの堕落モードへと突入した。

9月10日 土曜日 部活動有り

テスト前週間 + テスト週間 = 2週間の部活動停止 の影響で、僕の

所属している男子バドミントン部も当然、「勉強頑張れよ」つことでなかつた。それが今日解禁されたのである。久し振りの部活、それはただたんに僕の息を上げるだけでしかなかつた。

家に帰ると、親が「外食にするわ」と言い、「どこに行きたい?」と聞かれ、僕は悩んだ末に「スシ」と応えた。

回転ズシは今日が土曜日であることちょうど毎時だったといつことが重なつていたためか、混んでいた。

父さんと食べた合計は20皿だったが半分以上は僕が食べたはずだ。そのあと札幌の楽器屋さんへ寄り、帰路に着いた。

## 9月（中旬）

9月11日 日曜日 部活有り

今日の部活は、午前中。そして午後からは友だちとカラオケに行く予定だ！

だけど部活は部活、まじめに練習をした。

最初に3分間を速めに走り、その後は1分ごとに軽くランニング、速めに走る・・・を繰り返し5回、計13分も走らされた。

次に25分間の基礎打ち、休憩をはさんだ後ノック、最後にゲーム練習をした。

ゲーム練習では僕はダブルスなので1年（僕も1年）の相方と組んで、何回か試合をした。

2年生の先輩に申し込んで試合の相手をしてもらつた。  
結果は負けだつたけれど、色々なことを発見出来るためになるゲームだつた。

部活が終了し、待ちに待つたカラオケ～～～！！

実は今回で2回目だつたりする。

最初の2時間はずつと歌つていたのだが、

その後はじゃれあいながら歌うのを楽しんでいた。

楽しい時間はあつという間に過ぎ去り、気がつけば時計の針は午後の5時をさしていた。

「またこよ～ね～」

とみんなで言つて解散した。

9月12日 月曜日

今日はテストが返却された。

もつ書きたくない。

9月13日 火曜日

今日もテストが返却された。  
もつ書きたくないのだが1つ、

帰るときに雨が降り始めた。

くんっ、と鼻から息をすいこむと、  
アスファルトと雨とがまじるにおいを感じた。  
何度も体験しても不思議に感じるこのにおい。  
僕は胸一杯に空気をとりいれながら、自転車をこいだ。

9月14日 水曜日

のどが痛い。

朝一番に感じたことだった。

朝食を食べている時も、つばを飲み込む時も、話す時でさえわざわざ

わしく思ひ。

いつそのこと、のどを切斷して洗浄液にじゅぶじゅぶとつけこみ、  
ブラシで表面を軽く削りとつてから、  
度数がかなり高めのアルコールにひたして消毒し、  
直射日光を充分に浴びせてからまた戻したくなつたけど、  
そんなまねは僕には絶対に出来ない。当然だ。

とまあ1日中気持ち悪さと頭痛、のどの痛みを感じとつつつ授業を  
授けた。

家に着くとまず「」飯を食べ、次にアツメの風呂に入り、そして寝た。  
まつやかさまに落ちるような浮遊感を全身にいだきながら。

9月15日 木曜日

のどが痛い。

昨日よりも一段とひどく。

ああ、これはまじで熱があるな、と思いつつ体温計を探すと、すぐ見つかった。早速わきにはさめて、しばし待つ。

ピピッ、ピピッ、ピピッ、と電子音が生クリームに間違えて醤油を入れてしまったようなくすんだ体温計からなった。

35・5

いやいやいや、いくらなんでも低すぎるだろこれ？

残念ながら成長期の高校生男児の平均体温なんてものは知らない。  
学校を休れるか微妙なところだったので、親に尋ねてみると、

朝だもの。

だそりだつた・・・

学校では朝に飲んだ薬の所為か眠くなかったのに、気付いたら授業が終わっていた。

9月16日 金曜日

寝ている最中に鼻がつまり、何度も起こされた。ひどく眠い。

風邪が完治しないまま部活に参加し、家に帰ると立っているのをなんつらくなつた。

でも、体温は35・9  
ん~、朝と比べて夜の体温は0~1~くらこ上がるつていつ話を  
きいたことがあるのだけれど、該当しないなあ・・・

9月 17日 土曜日

今日、高校説明会があり中学3年生の生徒たちが見学していた。  
どことなく幼さの残る顔を見ると、僕も1年前はこんな顔だったの  
かなと思つ。

9月18日 日曜日 今日はバドの大会!

今日はバドミントンの大会!  
だけども万全でも十全でも完全でもない、最悪のコンディション。  
なぜならば風邪がいまだに続いているからだ。  
なんかとても嫌な予感がした。

それで大会が延期になるなんて都合良く、勝手に変更する」とは出  
来ず、

今はダブルスの2回戦。

1セット目は奪いどることは出来た。

しかし2セット目から息が上がり、動く度に頭が痛みだし状況は最  
悪。

嫌な予感は見事に的中した。2セット目をとられてしまった。  
いや、全然うれしくないよ?

3セット目に入り、僕がサーブで5点を先取することが出来た。  
この貯金を有効利用しなければ!そう思った。  
点を取つたら取り返す。やられたらやり返す。そんな感じの試合だ

つた。

競つて競つて競つて競つて、最後の最後まで競つて、更に競つて、負けてしまつた。悔やしかつた。やめたくなつた。もうどうでもよくなつた。

もし貯金をもつと多くしていなひ、

もしもつと僕が速く動けたなら、

もし僕の体調が万全だったら、

後悔の念が、なにもかも飲み込む混沌が押し寄せてくる。そして僕は深い眠りについた。

9月19日 月曜日

今日は敬老の日。だけども練習試合が午後からある。僕は起きよつとして手を着いた、はずだ。

頭が上がらなかつた。

どうやら風邪が悪化したようだ。

ずきずきと痛む頭をゆつくりと持ち上げて階段を降りていると、一段また一段と体が下へ動く度にずきつーと来た。

家族みんなで朝食を食べた後、薬を飲んでベッドへ潜つた。携帯を開きマネさんに

「今日は無理そです」と送信。

「了解しました。お大事にね」と返信。

僕は安心して眠ることが出来た。

9月20日 火曜日

今日は土曜日に学校があつたため、振替休日だ。

午前中は『オレタチのフィールド』をずっと読んでいた。

午後は『メモリーズオフ』ゆびきりの記憶へ『』をプレイしていた。

## 9月（下旬）

9月 21日 水曜日

鼻づまりがかなり治つてくれたおかげで、だいぶ味を感じることが出来るようになってきた。ここ最近は、ただ食欲を満たすためだけに食事を行なっていたので、楽しみがまた一つ増えたような嬉しい気分だ。

テストの結果が返ってきた。学年順位は最悪だ。

9月 22日 木曜日

今週は祝日と振りかえ休日のおかげで登校日はたつたの2日間だけであった。

さらに、バレー部が明日大会なので今日の部活はなし！やつたら~と思い家に帰つて寝た。

9月 23日 金曜日

今週の火曜日から来週の日曜日までお彼岸だ。  
僕の家もお参りに行つた。

父の実家は小樽があるので、僕の住むところからだいたい1時間くらいあれば着く。

車に乗つてしまはぐくすると寝た。

目的地に到着すると他の参拝客（でいいのかな？）が多く、なかなか駐車出来なかつた。

拝んだ後父の実家でそうめんを食べた。

9月24日 土曜日

風邪をひいてからというもの、1日20時間以上も寝ると言われる（確か……）ナマケモノの如くベッドから動いていなかつた。起きたら生理食塩水のようなポカリスエットをちまちまと飲み、ご飯を少し食べてから薬を服用して、またベッドへ戻つていた。まるつきり病人のようだ。

9月25日 日曜日

わたあめのように触れたら沈みこんでしまいそうなやらかい雲が、遙か上空で激しい風にあおられて、僕のことを解かしてしまいそうな強い日差しを時々隠してくれる。

天気は晴。絶好のサイクリング日和。こんな日には外出しないもつたいないような、そんな感じの昼下がり。友達からメールが届いた。

「PSPが飛んだ（TーT）  
なにをしたらいのかわからん」

僕は修理屋さんじゃないんだぞ？

とりあえず会うことにして、久し振りに顔を見た。

高校に入学してからというもの、同じ中学校の人達とは全くと言っても過言ではないほど会わなくなつた。

自分の住んでいる江別市はせまいせまいと思っていたけど、同じ市内に住む人と会う機会が減つた。というよりなくなつた。

大人に近づいているのかな……？と少し嬉しく思う反面、寂びしくなつた。

うちの学校はこうだ、担任の先生は優しいとか、そんな話をして  
彼のお目当てであるPSPを修理してもうりべく僕に渡した。

「あー、ブリックしてるね（笑）

うんうん、OKOK、了解了解、しましたしました！」

「どれくらいかかる……？」

不安そうに窺う彼に対し

「うん原因分ないし、

とりあえず15分～1週間ってとこだな」

こういう時、僕は決まってオーバーに言つた。  
最初に大きさに言つておいていざやつてきみたら  
「そんなに速いの！？」って驚いてもらえるからだ。  
つづづくいやらしい人間だと思つ。

「例のブツだ」 低音

「ひひっ、助かりますぜ」 僕

僕は袋に包まれている本をいただいた。

と下りない、本当に下らないやりとりをしてから別れた。

家に到着してすぐにパソコンを起動して、必要な作業を済ませた。

「後は～、後は～、すぐ終わる～！」

なんて歌ついたら、問題発生。

「…………」

彼のPSPを充電機にぶっさしてから寝た。

9月26日 月曜日

きっと、全国の生徒及び学生達は、初めてバンジージャンプやスカイダイビングをする直前の人と同じくらいテンションが低いであろう。

幸せの3連休はあつという間に終わり、『学校』という現実を無理矢理、眼前にたきつけられる。

眠い目をこすりながら登校し、意識がモウロウとしながら授業を授け、昼食を食べて満腹になつたお腹をさすりながら、閉じ行くまぶたと格闘しながら、1日は終わりにへと近づいて行く。

9月27日 火曜日

火曜日、いつもなら部活は休みなのだけれど、先週どつかの部活と交換していたため今日はあつた。家に帰つたらなにしようかと色々と考えていたのだが、そんなのはおかまいなしにトレーニングは始まった。

部活は女バドと前後半で入れかえで今回は男子が先に筋トレ。そこで問題は発生した。1年が筋トレ2年はランニングをし終え、練習項目を交代し1年のランニングが始まつてからのこと。

1年の数人がふざけながらランニングをしたことに対し先輩方は怒っていた・・・・・

部活の時間はランニングだけで終わつたのである。

9月28日 水曜日

今日もまたランニングから始まつた。きっと昨日の件を汚名挽回（間違い）の機会を与えてくださつたのか・・・？  
だけど、今日は僕の足がつてしまつた。しかも両足。  
ジャンプして着地をした刹那、あぐわ、つてな感じで。  
痛みでまつすぐに歩くことさえ出来なかつた。

9月29日 木曜日

今日は防災訓練があつた。

9月30日 金曜日

今日は1学期最後の登校日。僕の通う高校は2学期制なので、  
小、中学校の時とは違い、『秋休み』といつものが存在する。  
だが、それと同時に『講習』も存在する。

5日間のうち、3日間を朝8時30分、学校にて先生からありがい  
お言葉を頂き勉学に励むという、休みじゃないやん・・・

そんなことを思いながら明日から始まる講習を腹立たしく感じた。

## 10月（上旬）

10月1日 土曜日～秋休み

『秋休み』と言えども、朝6：00に起床し朝食を食べ学校へ行く準備をして身支度を整え自転車にまたがるのは、いつもと変わり映えがない日常の風景であり、『休み』なんて毛ほども感じさせてはくれなかつた。

2回の休憩をはさんだ後、12：30をもって1日の講習が終了する。チャイムは結婚式の美しい鐘のような音色で、至福の自由時間への突入を教えてくれる。僕は一応、男バドに所属しているので昼食を食べた後に部活動が始まる。

2：30からトレーニングが始まるので、部員と一緒にすぐ田の前にあるスーパーで昼食を摂ることになった。

.....

食事にかかる時間なんでものはパーティでもなければ30分もしない内に終わるもので、ましてやたつたの数人（しかも全員男）で1時間もつぶすことは不可能だつた。手持ち無沙汰になつた僕は学校へ戻ることにした。1年生の教室は4階にあるので、めんどうだなあと思いながら1段飛ばしで上がって行く。教室には先に戻つていた人達が勉強をしていたが、「ああ、もういい！」と僕の顔を見るなり言つた。一瞬、イラッ！ときたが、別に悪意や敵意がある訳ではない。そうだったので、自然と今の感情は風船ガムのようにふくらんで、ぱちんと消え失せた。

となりのクラスをのぞくとマネさんがお昼後のガールズトーク（？）を繰り広げていたので、僕も「一緒にさせてもらつべく教室へと足をふみ入れた。

僕には好きな人がいる。いつも可愛いなあ、可愛いなあ、と思つて  
いたが、その気持ちが『好き』となつたのは学祭の時だと思つ。

学祭、2日目のレポート

ちよりと長くなりそうなので、また明日（。<。）ノシ

10月2日 田曜日～昨日の続き～

で、今は7月8日の学校祭。基本的に僕は人が大勢いるところが苦手なのでこういった行事は少し嫌いだ。ほとんど寝て過ごした。非リア充にとってこういう行事は苦行でしかない。

だけど、僕は、どきどきしていた。

たけど、僕は、ともかくしていた

曲が流れ始めたので立つことを諦めた（人の熱氣ですぐにでも吐きそう・・・）。マイクによつて彼女の歌声が拾われて、スピーカーからまあそれなりの音質で、流れる（出来るのであれば、最高の音質で聴きたかつたな・・・）。

いつもの話す時の声とは違い、『歌つている人』の声だつた。いつもより澄んでいて体育館に響き渡つていたのは、気のせいではない。僕は懸命に彼女の声を出来る限り最高の状態で心に焼きつけようと必死だつた。鮮明に今のこの一時を胸に刻もうと耳をすましていた。

そして歌は終了し、後は生徒会の催し物、ビンゴ大会やらなんやら。  
・

学校祭2日目は後は花火だけとなつた。

10月3日 月曜日～昨日の続き、そして終わり～

花火大会はもちろんのこと体育館の中でやることなんて出来るわけもなく、グラウンドへ移動。先生方からの指示で「親御さんに連絡してください」と言われたその瞬間、チャンス！と思つた。速攻で親にメールを送り、Aさん（キニナルアノコ）は仮にAさんということにしよう）にも次の文を送つた。

「歌 すつごく良かつたね！」 するとすぐに返信は来た。

・・・・・

3年 2年 1年の順に外靴にはき代えてグラウンドへ向う中、一緒に花火を見られるかもしれないと思った。もしかしたら、もしかしたらと期待が熱気球のようむくむくとふくらんだ。・・・外は雲がかかっているおかげで時間の割には少し暗い。絶好の花火日和（？）だ。

視線を地上へと戻すとAさんは一人で携帯を確認していた。周りに女子の友達はいないようだったので、僕はそーっと後ろに近づき「わっ！」と驚かした。一步間違えるとただのヘンタイさんになりかねないのだが、多分大丈夫であろう・・・？Aさんは一瞬、肩をちぢこまらせてから僕の方へ振り向いた。

その後、歌の事を話していると花火が打ち揚げられた。最初の一発目は突然のことだったので、会場にいるほとんどの生徒は驚いていたと思う。そして勢いよく顔を上げると、

「きれい」

アさんの小さな声が僕の耳へ届いた。

10月4日 火曜日

なんていきなり7月の学校祭の話をしたのかというと、まあ書かれている通り、僕には好きな人がいる。ノド自慢大会（カラオケ大会？）に出演するほど歌唱力の持ち主でありまして、今日その人（達）と近場のカラオケボックスに行くための前座（？）、前置き（？）といったものをはつきりと示しておきたかったからです。

AM6:00 携帯でセットしたアラームがやかましく音を上げ、  
ハイブリードショットを始めたので覚ました。午前中は部活、その後に最大の楽しみであるカラオケだ。高なる鼓動に気付きながら朝食を食べ、いつもより早めに家を出発した。

カラオケボックスに早足でかけていくと、女子2人はすでに到着していた。待たせたのかな・・・?と思ったが気にしている様子はなく、友達が受付で少し話した後、店員さんに部屋へと案内された。コの字形の部屋に入った僕達の座った配置は

Aさん

僕

と、残念ながらAさんとの距離は離れていたが、歌つている時の横顔を盗み見ることは出来た。Aさんは生まれつき視力がよくなく、画面を食い入るようにしていたので、多分、僕が見ていたことには気付かれていないと思う。その真剣な表情にもドキドキと胸が速まつた。

～～～やつぱり、Aちゃんの歌声はこいつの話声とは違い、芯が通つているような力強さでどこまでも響き渡つていきそつで、いつま

でも僕の胸の中で留まつていってくれそうな気がした。

途中でスパイシー・ポテトを頼みみんなで食べているとAさんは「辛い」と言つた。僕は辛くないと思つた。そこから『辛い食べ物』の話をしたりと楽しい時間は過ぎていつた。

・・・・・たっぷり歌いに歌つて5時間が経過したところ、女子が疲労の色を見せ始めたので、その日は解散することになった。

10月5日 水曜日

ふと、なにを思ったのかカレンダーなんかを見つめていると、今月はもう10月になつていて、ことに気がついた。10月、それは4月から半年が経過したことを見している。「半、年、か・・・」口に出してみてもあまり実感はない。なにか変わつただろうか。なにか変われたのだろうか。自分に問うてみても分らなかつたし解らなかつた。

10月6日 木曜日～一学期始業式～

秋休みはほんの1週間もなく、生徒達にまた学校へと登校させるようになつた。今日もいつもと同じように自転車に跨り、勢いよく飛びだすと朝の空気が冷たくなつていて、無理矢理気付かされた。もうすぐ冬がやってくることを告げているようで、嬉しいような哀しいような、そんな気持ちになつた。

10月7日 金曜日

二学期が始まつてからたつたの1日しかたつていないといつて、僕の身体も心も疲労していた。どちらかといつと疲弊しきついていたかもしない。

『秋休み』だつたので感覚的には夏休みと一緒にしなね?といつ、

単純かつ安直で愚鈍な思考の持ち主である僕は夜更しをして小説を読むことに明け暮れていた。しかも、ラノベ。軽小説と書けば幾分見映えは良くなるが、結局のところはライトノベルである。僕の通っている学校は比較的に『そちら』の趣味を理解している、いや『大好き』な人が多いので、あまりびくびくと怯えながら肩身を狭くしながら本を読むことはないため、学校で楽しい会話を繰り広げるべくある程度の情報収集が必要不可欠なのだ。

だけど、睡眠不足という避けられない厳然たる事実（？）の所為で休み時間に寝てしまつては意味がないであろうに・・・と一人、自分につっこみを入れたくなる今日この頃。

10月8日 土曜日 部活午前

昨日書いた通り、僕は大変大変大変疲れていたので、部活が終わつた午後家に辿り着くと即座にベッドの中へと潜り込んだ。

10月9日 日曜日 部活午後

昨日の睡眠時間合計18時間 + 今日の睡眠時間合計6時間 = 計24時間。

これには正直驚いてしまつ以外なにもなかつた。

今日の部活では1年の女子と交流試合があつた。一応勝利を収めたが、試合の流れは最悪なほどにぐだぐだで、もやんなつちゃうわあ。

10月10日 部活午前

今日せめいすまめ なるとの誕生日.-.

10月（中旬）（前書き）

後半 ヘビーです

## 10月（中旬）

10月11日 火曜日

今日は部活の定休日なので、友達と市民体育館によることになった。

……9月18日、僕はこの体育館のこの場所でこのコートで負けた。約1ヶ月が流れ、一体どれだけ変わっただろう。どれだけ強くなっただろう。どれだけ弱くなっただろう。それは、分らない。だけれど、今月末にある1年生大会で否が応でも無理矢理、強引に『結果』が見せつけられる。強くなつたのならよし、弱くなつていたら……

そんなことを少し思つたけれど、一緒に羽根を打ち合つている間に忘れた。

10月12日 水曜日

最近、身体が疲れている。いくら寝ても眠つても『水泳選手』といふものが襲つてきて、僕のまぶなに重みを乗せてくる。（スイマー

睡魔）

原因の一つは多分、この頃部活を全力で取り組んでいるからだと思う。先月の悔やしさ（昨日参照）が日に日に強くなつて行く一方で、羽根を上手く打てないという矛盾にも似た、残念極まりない現実が僕を駆り立てる。その分、疲労もたまり……

もう一つは、夜中突然足がつり、痛みで目が覚め熟睡出来ないからだと思う。結局はどちらの理由とも部活が原因である、だけれども勝利を掴みとるまでは頑張つて行きたい。

10月13日 木曜日

今日、文芸部を見学した。

この発端は隣りの席の人があるときたりな展開である。かすかに『ただの人間には興味ありません。』なことを期待していたが、年々生徒数が減少し続けている某マンモス校でそんな妄想じみたことはなかつた。

部員全員が超個性的で、絶対に退屈なんて単語はこの部屋には存在しないと確信した。超ハイテンションで乙女ゲーの話を大声で共感し合つていたり、自己紹介をもらつた時に『趣味は人間観察（監察・・・？）です』と不敵な笑みを浮かべている人や、『趣味は部長（仮）をいじめる』ことです』・・・文芸部だよな？

つい最近、高文連があつたらじくその反省会もしていた。けど、ぐだぐだであつた。

「他の学校はもつとまじめにやつてているんだよ。」「私達には無理ゲー的展開です。3回で終わた（笑）

会話中（笑）つて・・・・・でも、きっと・・・きっと！文章力が鍛えられる場所であると願いつつ文芸部をあとにした。

10月14日 金曜日

誕生日について。

この厨一病全開にして全壊であるこの小説を読んで下せつてこる、あなたの誕生日はいつですか？

僕の生まれた日は十数年前の10月14日（土）です。

誕生パーティーなんてものは、リア充のリア充によるリア充のため

の行事でしかないため、僕にとつて大富豪がコンビニでアルバイトするくらい有りえない無関係なことでしかない。いや、別に憧れているとかそんなんじゃないんだからな。

友達が多ければ多いほど、誕生パーティーの回数が増えるわけでありまして、より楽しい生活を大量にねこじゅらしを「えられた猫さんみたいに満喫しているだろ」と思つと、自然と胸の奥がチクリとするような錯覚を覚えてします。別にパーティーとかの主催者になりたいわけではない。

でも。そんな僕にも『誕生日、おめでとう!』と言つてくれる人がいて、そういう温かい光景に自分が溶け込めているんだ、という実感が身体の奥底からじょじょじょと湧き上がり、顔をあつくほてらせる。やっぱり、誕生日つていいな。

10月15日 土曜日

また、風邪をひいた。感染源は兄である（確定）。

一昨日、朝食を食べるため食卓を囲んだ時のことだ、兄が不機嫌そうなだけどつらそうな顔をしていた。溜め息なんかをついている。ハシに手を伸ばすわけでもお茶を飲むわけでもなく、ただぼーっとしていた。

すると、兄のわきから10年以上変化がない電子音がピピッピピッピピッ、と鳴つた。

『39・2』

・・・・・おいおい。

まあ、そんな訳で（どんな？）風邪が伝染つてしまつたようだ。

10月16日 田曜日

朝目が覚めるとそこには花畠が広がっていた！・・・・・なくてことはなく、デジタル時計が12：10を示していた。12時間も寝ていた。プランチにキムタク（ブタ）チャーハンを食べてからまた寝た。

気付くと汗をびっしょりかいていた。水を飲みにいくために立ち上がるが、立ち眩み。頭を下げるとな屋に置いてある譜面台にすり、顔を切つてしまつた。どうしようもない怒りがこみあげてきたが、我慢してのみこんだ。その後、また寝た。

夕飯になべを食べると全身から汗がふきだし、着ているパジャマが大変気持ち悪くなつた。その後また寝た。

友達からメールが来たので目が覚めた。2・3回やりとりをした後風呂に入り、寝た。

10月17日 月曜日

今日、嫌なことがあつた。自分のことだ。

部活中、上手く打てないからといって、ラケットにあたつたり奇声をあげたり床をけつたりと、最悪最低最下の行動だったと思う。それを見て疑問を抱いたマネさんは（僕は基本的には普通である、はず）、注意をしてくれたのにも関わらずそのような愚行を止めなかつた自分をぶんぬぐつてやりたい。なにを言つたところで、その時やつてしまつたことはとりもどせない。周りの人を不愉快にさせていたかもしれない。後から悔やむと書いて後悔。僕はそれを十二分に感じていた。

10月18日 火曜日

今日は部活の定休日なので、学校が終わり放課後になるとともちぶ

さたになってしまった。そんな時偶然、部員にばったり会ったので色々な本当にどうでもいいような話をしながら家へと向かった。

明日は、数学が考查間テスト。ワークのテスト範囲にあたる部分を赤ペンで丸つけしてから提出をしなければならない。なのに、それなのにワークはまだ全て終わっておらず夜更しをするはめになつた。計画をしっかりと立てて取り組むのは重要なことであるが、なかなか出来ないものだ。

10月19日 水曜日

今日、またもやらかしてしまつた。部活でのことだ。  
自分勝手な言動や行動で他の部員に不愉快な思いをさせてしまつた。  
なんて好き勝手なヤツなんだろう。  
なんて我田引水なヤツなんだろう。  
なんて厚顔無恥なヤツなんだろう。

なんて、思つてしたりして。

10月20日 木曜日

昼休み、昨日の話を他の部員から聞いた。もう僕の居場所はない。  
部活に顔を出すことさえ億劫だ。  
一体、僕はなにがしたかったんだろう。修復のしようもなく完全に  
亀裂が入つてしまつた。

部活の時間になり、顔を会わせるとやはり昨日件について言われた。  
全くそのとおりだ。すべて僕が間違つてゐる。なにも言い返すこと  
が出来なかつた。  
死んでしまいたい・・・とは思わないし、口にしない。だけど、消  
えて無くなりたかった。

## 10月（下旬）

10月21日 金曜日

僕は今日早退した。はやびきと言つちつだ。サボタージュと言つちつだ。僕は部員から逃げるよひにして、家へと向かった。

10月22日 土曜日

・・・・・・・・・・・・

10月23日 日曜日

・・・・・・・・・・・・

10月24日 月曜日

・・・・・・・・・・・・

今日、部活に参加した。一人で悶々としていたのはただの杞憂にすぎなかつたのだろうか？いつも光景が広がつていて、いつもの部活がそこにあり、いつもみんながいてくれた。

僕は。

僕はどうすればよいのだろうか？

一体、どんな顔していればよいのだろうか？

複雑なこの気持ちはどうすればよいのだろうか？

10月25日 火曜日 部活定休日

今週末の土・日にバドの1年生大会がある。そのため、また市民体育館にやつてきた。

僕は友達と過「」ぐすこの一時がとても大切なものに感じられた。  
だって、僕は・・・最低なのだから。

10月26日 水曜日

今日の部活では先輩と試合をした。勝つたり、負けたり、負けたり・  
・

ある試合終了後、僕の相方がかなり怒っていた。

試合で手を抜かれていた、本気で戦われなかつた、そのことは僕も  
許せなかつた。腹が立つた。ぶん殴つてやりたくなつた。  
でも、やらなかつた。それでいいんだと思つ。

10月27日 木曜日

また風邪をひいた。バドの大会2日前だといつのにも関わらず・  
授業は全然集中出来ずぼーっとしていて、全く身についていない。  
身体を強くしたいと思うのだが、なかなか上手くいかないようだ。

10月28日 金曜日

明日はバドの1年生大会だ。

ただ、僕は今とても疲れていて万全の調子とはいえないから、良い  
成績を残せるかどうか不安である。

でも、自分のベストを出し切りたいと思つていて。

『DO MY BEST!...』・・・・最善を尽くす

英語の授業で習つた表現の一つで、かなり気に入つてゐるものだ。  
この言葉を噛みしめ悔いのない最高の試合をしたいと自分自身に強  
く強く胸に刻んだ。

10月29日 土曜日

今日はバドミントン1年生大会！

高校生になつてから半年が過ぎた今、自分の実力が試される場である。先月の大会からだいたい1ヶ月が経過した。僕はどこか変わったのだろうか、今日、その答えが見付かる。

ダブルス1試合目はがちがちに緊張してしまい僕のミスが目立つた。だけどなんとか相手よりも多く点を奪いとることが出来たので勝利を収めた。

2試合目でも僕の失点が相次いで起こり、危うく負けそうになつたがなんとか盛り返したことによつて点差が開き、そのまま勝つた。

3試合目、今まで順調に積み上げてきたトランプタワーが見知らぬ人の鼻息によつてくずれ落ちるよう、僕の中で描かれていた理想像が一瞬にしてはかなく霧散した。負けた。敗けた。決して勝てない試合ではなかつたはずだ。

だけど。

敗けた。

ここでだらだらとどれだけ僕の気持ちが日本海溝のように沈み込んでいるのかを表記したいところだが、あいにく負け犬の遠吠えにしかならないので割愛（でいいのかな?）します。

10月30日 日曜日 引き続き大会

シングルス。

僕は絶対にシングルス向きではない。バドミントンとではコートの中を縦横無尽に駆け巡つたりするので、体力が幼い頃から貧困な僕にとつては、それが長引けば長引くほど限界が刻一刻と死亡宣告す

る死神の「」とく迫つてくる。

大会はトーナメント制なので勝てば勝つほど僕は苦しめられる。だから、僕は負けてしまった。あつさりと。体力のなさを無理矢理理解させられ、負け犬のような屈辱を味わい、独り、トイレで泣いた。

10月31日 月曜日

10月が終わり、今年も残るは11月と12月だけとなつた。高校1年生になつてからまだ半年と少ししかたつていらないというのに、思い出が沢山作れた。・・・作れた？一生懸命思い返そうにも記憶がない。なんだろう、すごく楽しかつたことつらかつたこと、くやしかつたことうれしかつたことetc・etc・があつたはずなのに、ない。心にぽつかりと穴が開いたような。

過去をどこかに押し退けてしまつたのだろうか？

苛虎？いやいやダメダメダメ！！（モウダメボ

冗談はさておき、だけど一体僕の記憶はどうして行つてしまつたのだろうか？考えてみてもさつぱり分らない。

11月（上旬）（前書き）

10日から数日が経過してきました（――）

## 11月（上旬）

11月1日 火曜日

今日、英語の模試のようなテストがあった。結果は最悪。日本人だからいいや、なんて言い訳はしたくないけれど、すごく難しかつたと感じたのは僕だけではないはずだ。

11月2日 水曜日

水曜日の授業選択には『音楽』がある。先週に引き続き『椿姫』の映画、オペラの映像を観賞した。映画では場面に合った場所で撮影出来ること、ズームインやズームアウト、様々なエフェクトをつづられていた。逆にオペラの方では同じ舞台の上で演じているのにも関わらず、大道具や照明などの演出によって舞台が違う所に変わっている感じがした。特に遠近法の利用の仕方が当時の技術でも十分に素晴らしい具合いで観客に対して効果を与えていることが分った。

ちなみに授業選択とは芸術科目の『音楽』『書道』『美術』の中からひとつ選び、1年間教わるというものだ。なぜ『音楽』にしたのかというと、僕はギターを少しだけかじっているからだ。

小学生の頃に知合いからアコギをもらいました以来ずっと触っているのあまり上達の兆しが見られない・・・ちょっとショックorraine

11月3日 木曜日 文化の日

今日は世間的に重い国民の祝日なのだが、明後日に控える模試対策の講習があった。

1限目は古典、僕のいる学年には国語の先生は2人いて1人はオジ

キ、もう一人は「ごく小数から陰でラバと呼ばれている先生で今回の講習ではこちらの先生がご教授なさる。

基本的にプリントを解きそれの解説のスタイルで、大事な箇所になると声が大きくなるのでどこが重要なのがはつきりして好きた。

2限目は英語、先生はバー部の顧問で本日不在。なので他の学年の先生が代理として来た。名前は知らないが僕はこの先生が以前からよく見かけた（同じ学校にいるのだから当然か・・・）。下校の時、バス停で待っている姿やバスの中で携帯音楽プレイヤーを聴いている（多分英語関係のやつ）姿 etc .etc .いつもシブめのオジサマとというイメージがあり、やはりその通りだつた。

3限目は数学、残念ながら半分以上寝てしまいました。

m (○—○) m

その後、1時から部活が始まり2刻半ほど間ずっと筋トレした。部活終了後、近くの古本屋さんに寄つて、たまたま『ホムンクルス』を読んだところすこくおもしろかった。頭蓋骨に穴を開けた主人公は第六感を自覚めさせる！？みたいなそんな感じのストーリーだと思います（間違つていたらすみません）

m (○—○) m

11月4日 金曜日 明日模試

最近、同じクラスの女子（腐）にやたらBL本をすすめられる。とりあえず借りてみることにした。

11月5日 土曜日 模試

いや、難しそうるよ。まじで。解らなさすぎて、英語の時間半分以上寝ちゃつたし・・・！ああ～もうこつた感満載だからなにもかも

「でもよくなつてきた。」

11月6日 日曜日 部活なし

今日は2年生の先輩方と1年の上位3人が練習試合として他の高校にでばつて いるためランク外である僕は久方振りの休日だった。当然朝はお寝坊さんだし、正しい休日の過ごし方よろしく小説を読んで漫画を読んで音楽を聴いてアニメを見て・・・

ああ平和つて素晴らしいけれど、やつぱり物語のような展開を期待するわけでありまして、女の子と仲良くなりたいです、はい。そんな現実非現実を憧れる僕はギターを抱えながら1人寂しくチャカチャカと鳴らす。もしかしたら、もしかしたらと心の中で幾度も呟きながら。

11月7日 月曜日

フラグが立った！なんて聞こえは良いけれど、実際思つていたより大変だつた。僕のことを好きな女子がいる（らしい）のだが、クラスの人から茶化されるばかりであまり気分は向上しない。むしろ恥ずかしい。

男子からならまだ、冗談はヤメレと言えば済むのだけれど、女子はそうにはいかない。集団で取り囲むようにして身動きを封じられる。そして質問の暴風雨。田を合わせながら話すのはリア充になるための最低限必要なことだと思っているので、視線をおろおろとピントが合つていらないカメラのように定まらない時点でアウト！あなたはリア充になれていません。顔をふせたりしながら機械的に反応するのがやつとで、やたらと恥ずかしい。相手が1人ならまだしも、集団の女子となると顔が火照りだしてしまつ。そして勘違いされてし

まつ。

「照れてる照れてるうへへへ」

違うわい、君達と話している」と僕はびきびきしているんだよ！  
なんて心の叫びは届きません。

11月8日 火曜日

今日は部活定休日！！

最近、Aさんと話していないなあ～

会いたいなあ～色々と話したいなあ～声を聴きたいなあ～

11月9日 水曜日

今日、音楽の授業でシュー・ベルトの『鱈』『菩提樹』を聴いた。  
先生が話していたピアノによる情景描写（でいいのかな？）は聴いている人にその光景を脳裏に直接届けているような感じがした。

11月10日 木曜日

それは突然のことだつた。今日、クラスの女子に誤つて小説を書いていることを話してしまつた！－この日記や他の小説とはとうてい呼べないただの文章、いや文字の羅列を読まれてしまつ。内心ビクビクしていたが、部活の時にはすっかり忘れていた。なぜならば、

今日の部活は大変だつた。

部活1体力の乏しい僕は少し走つたりするだけで疲れてしまつとい

うのに、練習メニューではホールの中を駆け巡った。それを5セット以上。気がつくとふともももははぱんぱんになつており動くのも億劫な状態。

だけど、ゲーム練習が出来ると分かつた途端、さつきまでの疲労がなくなり頑張るぞーーー！という気持ちで一杯になつた。それにAさんもんばん見ておるし、カッコイイとこ見せてやりたいな、ヽヽなんてちょっと顔が紅くなる。そんな1日。

## 11月（中旬）

11月11日 金曜日

今日はなんの日でしょうか

ポツキーの日！ それも正解です。

NOVEMBER - 11 確かに DARKER THAN BLACK - 黒の契約者 - の登場人物も正しいと思います。

あずにゃん の誕生日！ 僕も心から御祝い申し上げます。

一体なんなのさ？ 答えは！？ ある先生曰く、電池の日です。

なんで電池の日なのさ！？ 漢字表記にすると

十一月十一日つまり + プラス - マイナス が並んでいるように見えますね。

ひと捻りされている訳ですね！ そういうことです。

11月12日 土曜日

今日は11月講習があった。国語、英語、数学、の順番であった。英語の時間、本来の先生が部活の大会があるため不在、代理に他の先生がきた。その先生はシブ田のおじさま。以前、書いたかもしれないが憶えてないので・・・話し方も特徴的で僕はこのおじさまが大好きだ。

その後、部活。

11月13日 日曜日 バドの大会

大会がまたむこいつからやつてきた。今回は相方をチョンジしてみての参加であった。シングルスは参加しない、なんでだろ？朝、会場でトーナメント表をうけとると、絶句した。勝ち進むといきなり強い人にぶつかる、しかも2年生・・・これは、ないな...と一瞬で暗い気分へ急転直下した。

1回戦目は相手が初心者のように難なくクリア、問題は次だ。試合のゴールがただただ僕のカウントダウン式の死亡宣告に聞こえ、今この場から脱出し家に帰つてゲームでも・・・なんて妄想は、

「 高校対 高校の試合を7コートで行ないます」

Goodbye、大好きなAさん。僕は無様にもヒドイ醜態を周囲に晒しながら嘲笑や罵倒をシャワーのように浴びせられながら、必死に、懸命に、試合にしがみつきます。なんでそこまでするかつて？やっぱりバドミントンが好きだからです。

バドミントンはスポーツです。決して相手を罵倒や嘲笑、けなすなんてことは一切ありません

そんなこんなで僕は2回戦目のコートにDARKER THAN BLACKな気持ちで赴いていると、相方が

「対戦相手の1人はヤベーぞ。なによりデカイ、それにノーモーションで打つてくるからどこに飛ばしてくるのかわからん」 おい、フレッシャーをかけないでくれよ・・・

だけど、会つて直感した。コイツは絶対に敵にしてはいけないヤツだと。伸長が高くガタイが良い。せりに空手をやつてこむ（伝聞・推定）のだ。

そして僕にとって悪夢のような試合は始まつた。  
まけたけどね。ウソだけど。

11月14日 月曜日

今日席替えをした。

まあまあな位置。

悪くはない位置。

周りは女子6割、男子4割と若干 女子分多めの位置。

11月15日 火曜日

今日、看護の歴史について少しばかり学んだ。  
よりいっそう看護師に憧れた。  
だけど学力が足りない。  
つらいつらい現実という名の壁が立ちはだかる。

11月16日 水曜日

僕が彼女に初めて出会つたのは入学式の日だつた。運命的なものは  
一切なく、普通な普遍なありきたりのボーイ・ミーツ・ガールだつ  
て。

僕は恋に落ちた・・・・・・なんてことではなく　かわいいなあーと最初は思つていた。

高校生とは出会いの場でもあるようで、Aさんと話す機会はそれなり、いやかなりあった。

幾度か話をしているうちにAさんにに対する気持ちは変わつて、いつた移動教室の時はすれ違わぬいかと期待したりほんの少しの道のりを少しでも長く話せないかなつて悩んだり家に帰つてから電話かけようか迷つていたり・・・

透き通つていてる凜とした声が好きだ

よく真つ赤になる豊かな表情（？）が好きだ

僕はただただそういう感情をただただAさんに抱いていた

### そんな高校生日記

11月17日 木曜日

今日、予防接種をうけると左腕がはれてしまつた。当然部活は休むことにし、文芸部の方に顔を出すことにした。

文芸部の皆さんは常にハイテンションであります、僕はとても困る。でも楽しそう。いつも田舎のよつなものを読んでいただき感想を言ってください。とてもうれしい。

今日僕の住んでいる地域で雪が降った。今年の初雪であるのかな？残念ながら降ったのは夜中のことで見る」とは出来なかつた。朝方にまぐじょぐじょにメルトしていく残念であつた。

11月18日 金曜日

昨日、降つた雪が氷りづけになつていて登校するときスリップしそうで危なかつた。

24時間前に打つた注射の所為か、1日中気分が優れなかつた。

11月19日 土曜日

夜中から雨が降り昨日一昨日と一生懸命に自分の陣地を広げる」とに努めていた雪＆氷が跡形もなく消え去りました。

今日、講習があつた。高校に入学してからといつもの、幾度も幾度も講習を経験してきたが、やっぱりなんと言ひますか、やるのであれば毎週やつてほしいと思います。はい。僕は講習に賛成派なのです。なぜなら授業の復習や応用・発展を教えてくださるので、より勉強が身につくからです。でも先生方は忙しい身、残念なことにそうはいかないのです。

11月20日 日曜日

やつと『ぼくは委員長』を書き終える」とが出来ました。

え、なにおもしろくない？はい、そりですね……

自分でも結局なにを言いたかったのかよくわかりません。

それでもお読みになつてくださつた方に心より感謝の言葉をもつし  
あげます。

本当にありがとうございました。

今日はバドミントンの団体戦がありました 僕は応援だけです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7585w/>

---

高校生日記

2011年11月21日09時46分発行